令和５年度
学校だより
ＮＯ．１０
Ｒ６．３．２２

まいづるの子

～ふるさとを愛し　羽ばたく子に～

甲府市立舞鶴小学校
文責　校長　小林　和仁

卒業式　60人の6年生が立派に巣立っていきました

令和6年3月21日、おだやかな春の日差しの中で、令和5年度　舞鶴小学校第19回卒業証書授与式が行われました。今年度は感染症予防対策が緩和された中で、甲府市代表、学校運営協議会の委員の皆様をご来賓としてお迎えし、厳かな中にもとてもあたたかみのある卒業式となりました。卒業生の思い、保護者の皆様の思い、地域の方々の思い、そして教職員の思いが、体育館の中で響き合い、一つになったことがあたたかさへとつながったのだと思います。6年生の一人一人が立派に卒業証書を受け取ることができたのも、これまでの努力の証だと思います。保護者をはじめ、これまで育んでくれた多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、新しいステージで活躍してほしいと思います。　ご卒業おめでとうございます。

感謝の気持ちを・・6年生を送る会

２月 22 日に６年生を送る会が行われました。来年度の新児童会本部が中心となり、５年生が企画運営を行いました。マスクを着用したものの、全校が一同に体育館に集まり、６年生を目の前にして感謝の気持ちを伝えることができました。準備は在校生となる全員で行いましたが、１・２年生は会場に飾るお花作り、３年生は体育館の壁画に使う飾り、４年生は招待状づくりを行い、５年生は会場づくりと縦割り班で作るメッセージカードのプレゼント作成を行いました。

６年生の入場では、花道の途中で一人一人が将来の夢や小学校の思い出を発表しましたが、その堂々とした姿に６年生の大きさを感じました。１年生から５年生までの在校生から卒業生へのメッセージでは、体の動きを取り入れた歌やパネルを使いながらの呼びかけなど、大きな声で力いっぱい、気持ちを込めて伝えることができました。そして、６年生へプレゼントを渡し、最後に６年生から在校生へ向けて、「変わらないもの」の歌のメッセージが届けられました。感謝の気持ちの「ありがとう」やお祝いの気持ち「おめでとう」が体育館いっぱいに響き渡ったとてもあたたかい会となりました。南館の階段には、６年生からの「ありがとう」のメッセージが飾られました。

１年間のまとめ・特別代表委員会

令和５年度の児童会活動の反省を話し合う特別代表委員会を２月 29 日と３月１日の２日間にわたって行いました。重点活動である絆スマイル、あいさつスマイル、思いやりスマイル、ピカピカスマイルについて、各学級で話し合われた意見が出されましたが、どの目標についても賛成され、テーマである「太陽の様に輝け！舞鶴スマイル」は見事に承認されました。また、７つの委員会についても、「ありがとうございました。来年も続けてほしいです」との意見が多数出され、学校のために一生懸命に活動してきた成果が認められました。来年度の児童会活動につながる実りある特別代表委員会になりました。

授業参観・学年懇談会ありがとうございました

令和５年度最後の授業参観を２月 13 日、15 日、19 日、３月１日に行いました。保護者の皆様方には大変お忙しい中、出席をしていただき誠にありがとうございました。４年生は二分の一成人式を、６年生は保護者に向けての「感謝する会」を、あおぞらけ・やき学級は、卒業する６年生に向けて「送る会」を、他の学年も、１年間を振り返りながら自分の成長を発表する学年が多く、感謝の気持ちを伝えたり、成長を喜んだりする貴重な時間となりました。授業や活動を見ていただきながら、また、懇談会での担任からの話を聞きながら、お子さんの１年間の成長を間近に感じていただけたのではないでしょうか。もうすぐ３学期が終わります。１年間の振り返りをしっかり行い、希望に満ちた新年度のスタートになるよう心より願っています。

学校集会を行いました

２月 28 日と３月 13 日に学校集会をテレビ放送で行いました。28 日は、図工・美術大会、音楽創作力比べ、書き初め大会、なでしこ賞の賞状伝達を行い、県入選、市入選などの代表児童に賞状を渡しました。あきらめずに一生懸命に取り組んだ成果の証です。また、なでしこ賞は、友達との望ましい人間関係をつくっている、他の児童の模範となるような善行をした人や団体に送られる賞で、今年度は善行賞として「舞鶴小児童会」が受賞しました。賞状は２月９日に甲府市長から代表児童に手渡されました。これらの賞は誰にでも受賞のチャンスがある大会や活動です。来年度に期待してがんばってほしいです。

保護者や地域の皆様に支えられて　１年間ありがとうございました

令和５年度は、法的にアフターコロナとなり、子ども達に関わる様々な行事が本来の形で実施できるようになりました。授業参観や秋季大運動会など、大きな行事も制限を緩和した中で行われ、久しぶりに子ども達の元気な様子、活躍する場面を間近で見て感じていただけたのではないでしょうか。

年が明け、２月２日には、穴切神社宮司の秋山様が「節分」のお話しをしてくださいました。各家庭では邪気を払うための豆まきをしたことと思います。また６日には、穴切雅楽会の皆様により６年生が雅楽について学び、演奏も聴かせていただきましたが、なかなか聴くことのできない生での音色に、６年生も感動していました。１３日からは、「地域連携あいさつ運動」を行い、早朝より多くの地域や保護者の皆様にご協力をいただき、子ども達にあいさつの大切さを教えていただきました。26 日には、「第４回学校運営協議会」を行い、今年度の学校評価、全国学力・学習状況調査、来年度の学校運営協議会について協議を行い、また、導入２年目となる来年度に向けて、多くの建設的なご意見をいただきました。29 日には、「第４回ＰＴＡ学校委員会」が行われ、今年度のＰＴＡ活動の総括と来年度の本会役員の推薦を協議し、終了後には新旧本会役員会と引き継ぎを行いました。

アフターコロナと言っても感染症がなくなったわけではなく、秋には例年にはない早さでインフルエンザの流行も見られ、行事１つ１つに安全に行える対応を考えながらの実施となりましたが、保護者の皆様、地域の皆様の大きなご支援やご協力をいただきながら、令和５年度の行事や活動を無事に終えることができ、子ども達一人一人の成長につなげることができました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

舞鶴小ホームページには、子ども達の学校での様子も載せていきますので ぜひご覧下さい